

福商会報

FUKUSYO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人 福商会 専務理事/前田 福一 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092-711-9890 FAX : 092-711-9266

Eメール:info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.142

一〇三回生福商会入会式

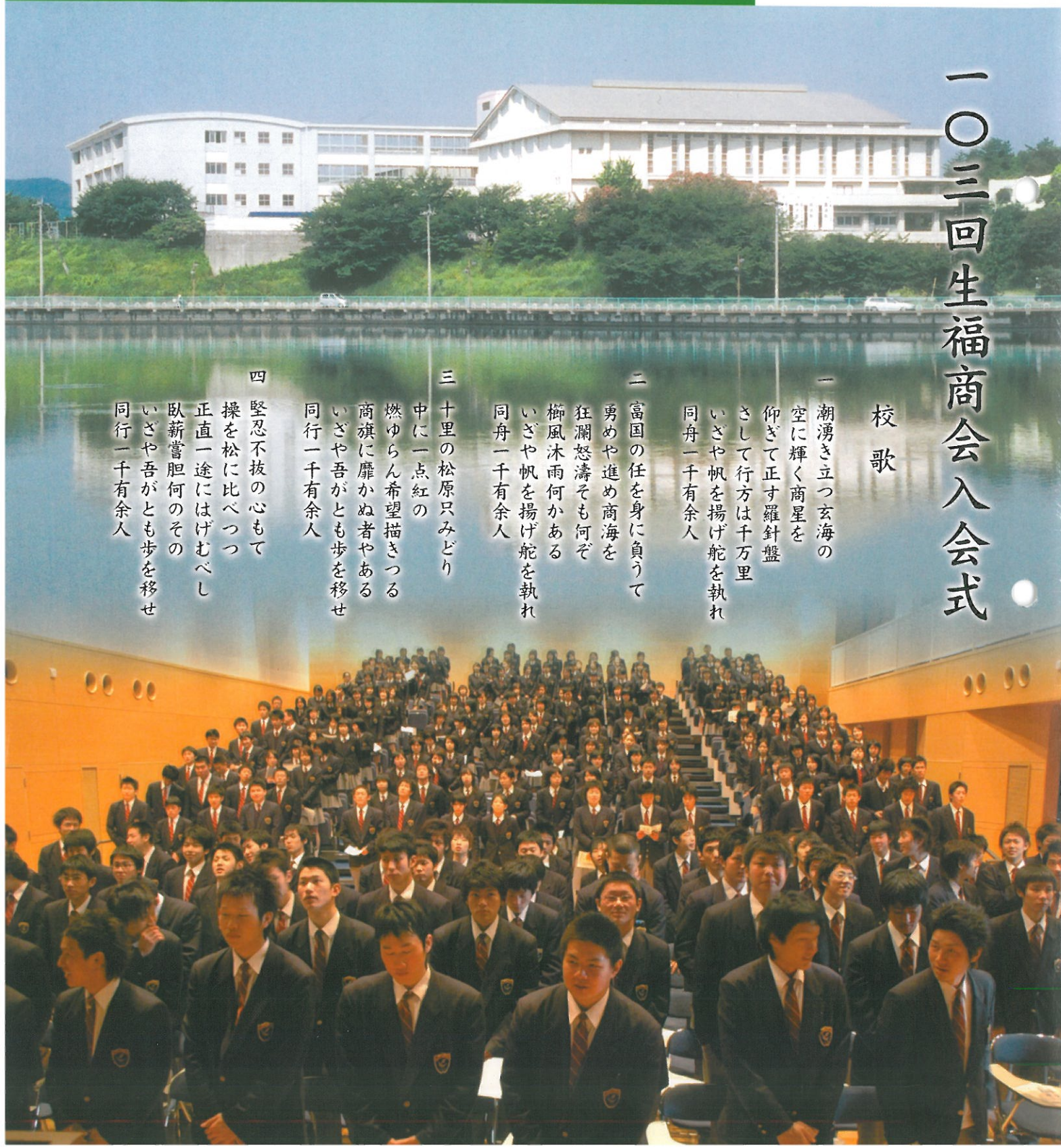
校歌

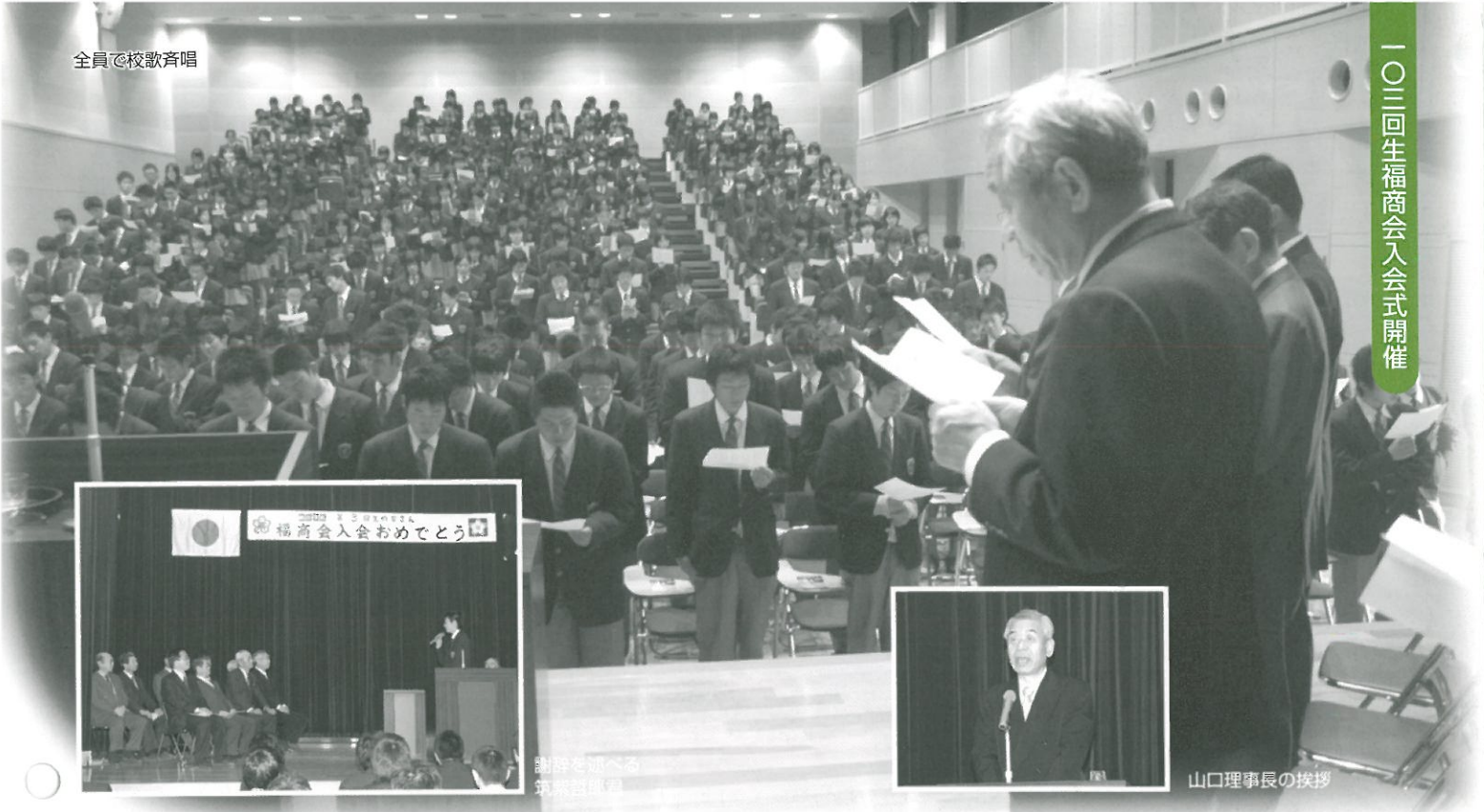
一 潮湧き立つ玄海の
空に輝く商星を
仰ぎて正す羅針盤
さして行方は千万里
いざや帆を揚げ舵を執れ
同舟一千有余人

二 富国の任を身に負うて
勇めや進め商海を
狂瀾怒濤そも何ぞ
櫂風沐雨何かある
いざや帆を揚げ舵を執れ
同舟一千有余人

三 十里の松原只みどり
中に一点紅の
燃ゆらん希望描きつる
商旗に靡かぬ者やある
いざや吾がとも歩を移せ
同行一千有余人

四 堅忍不拔の心もて
操を松に比べつつ
正直一途にはげむべし
臥薪嘗胆何のその
いざや吾がとも歩を移せ
同行一千有余人





謝辞を述べる
筑紫哲郎氏



山口理事長の挨拶



田中先輩からの激励

今春卒業の313名が 福商会に仲間入り

先輩から歓迎のことば 人との出会いを大切に

福翔高校総合学科第3期生（103回生）の313名が、2月28日に福翔高校の多目的ホールにおいて福商会への入会式が行われました。段裕校長はじめ担任の先生方、青木弘志PTA会長ほか役員、福商会から山口毅理事長、松尾嘉助副理事長、前田福専務理事ほか体育部OB会会長らが出席しました。山口理事長から「福商会入会を心から歓迎いたします。福商会は昭和27年に社団法人となり、卒業生が集まれる場所として岩田屋初代社長の中牟田喜兵衛氏（8回生）が土地を寄贈して、いまの福商会館が建てられました。皆さんは進学、就職とそれぞれの道を歩みますが、人との出会いを大切に、絆を深めてください。会館は同窓生一人一人の財産です。これから会館を利用し、先輩、後輩達との交流を深めて欲しいと思います。また、福岡はアジアの玄関口でもあり海外に目を向け、大いに羽ばたき活躍されることを期待します」との歓迎の挨拶がありました。このあと、先輩を代表して田中敏氏（58回生）から激励の言葉があり、続いて、前田専務理事より福商会の運営や現状についての説明がありました。最後に新入会員を代表して、筑紫哲郎君から「福翔卒業生として、誇りを持ってがんばっていきたい」との謝辞があり、約1時間の入会式を終えました。

四体育部に奨励金!!

福翔高校において平成16年度の体育部4部（野球、サッカー、剣道、バスケットボール）に対し、福商会から体育奨励金の寄付が2月28日の福商会入会式の前に行われました。学校から段校長他、体育部から各部の父母会代表者、福商会からは山口理事長、松尾副理事長、前田専務理事ほか各体育部OB会会長らが出席しました。OBからは今年度の活躍を期待する熱い想いを伝え、父母会からは「県大会出場や更なる飛躍を目指してがんばりたい」との力強い言葉もあり、これからの健闘を誓いました。



第2回

福商縦の糸の会 開催

190名が集い縦・横の交流深める

「第2回福商縦の糸の会」が2月4日、福岡市博多区の八仙閣で盛大に開かれました。

当日は昨年の170名を越える190名の90歳から20歳代の幅広い年代が参加し、縦・横の交流を深めました。第一部は博多祇園山笠振興会の副会長で事務局長でもある瀧田喜代三氏(55回生)が「博多山笠の歴史」から「しきたり」、「山笠の魅力」など、時折ユーモアを交えながら約1時間の講演がありました。第二部の懇親会は山崎孝一相談役の乾杯の発声で始まり、参加者は旧交を温めたり、異業種交流としての意見交換、名刺交換を行うなど、和やかで有意義なひとときを過ごしました。最後は全員で校歌斉唱、博多手一本で締め盛会に終わりました。



段校長他、先生、PTA役員の方々



先輩、後輩の絆を結ぶ風景



博多祝い目出度を唄う皆さん

講師の話しに破顔一笑



盛会の「第2回福商縦の糸の会」

● 瀧田喜代三氏講演

博多祇園山笠 あれこれ

「764年の歴史と伝統が脈々と息づく自主の精神」



■ 博多山笠の歴史

国指定重要無形民俗文化財の博多祇園山笠は、諸説ある中で1241年承天寺の開祖聖一國師が、当時博多の町に流行した疫病退散祈願のために、施餓鬼棚に乗り、清水を撒いたのを博多祇園山笠振興会では起源としている。

■ 流れ

1587年豊臣秀吉による「博多町割」によって7つの流れが出来たのが始まり。現在は西流、土居流、大黒流、恵比須流、東流、千代流、中洲流。また、今年の飾山笠は13本が立つ。

■ 山笠のしきたり

◎「不浄の者立ち入るべからず」立看板の意味は、(2002年に「関係者立ち入るべからず」に変更)山笠は怪我がつきものだった。怪我した人を赤不浄、この1年に身内を亡くした人を黒不浄と言っている。また、不浄は女性を指したりしているが、山昇手はそんなことは思ってもいない。法被を乾かしたり、直会の準備をしてくれたり、大きな役割を持っており、博多のごりよんさんの力は大変大きいものがある。

◎水法被、当番法被には流れの誇りと責任を持つ。

博多では、当番法被は6月、7月と着用が認められている。公式の場(結婚式、葬儀)でも十分通用する。(ただし、東京のさるホテルでは通用しなかった)

■ 福商会との結びつき

1978年、日本商工会議所創立100周年記念行事として「全国郷土祭」が東京国立競技場で開かれた際、博多山笠関係者が福商会東京支部を訪問。交流を深めた。

■ 博多山笠の魅力

◎礼儀を重んじ、自主の精神を尊重する。
◎年齢を問わず自分で責任を持つ。
◎長幼の序を大切にす等々。
今、忘れかけている「日本人の心」を山笠の伝統が脈々と受け継いでいることが魅力にあるようだ。「山笠があるけん博多たい」とは言いえて妙である。
余談として、山笠期間中はキュウリは食べないと習慣があるがこれは祇園宮の紋が、キュウリを輪切りにすると似ているから、恐れ多いと言っただが「おいしいものも食べずに精進して山笠を昇こつ」が本当のようだ。

CONTENTS

- 103回生福商会入会式... 2
- 縦の糸の会開催 3
- 理事会報告 4
- ピックアップ 5
- 学園から 6
- 青春プレイバック 8
- OBトピックス 10
- OB紹介 11
- 回顧録 12
- 恩師シリーズ 13
- 笑いの健康法 14
- 福商100年史 15
- 会費納入者一覧 16
- 企業紹介 18

理事会報告

2月4日、第五回理事会開催！

母校への平成17年度給費奨学生25名承認

第5回の理事会が2月4日福岡市博多区の八仙閣で開催されました。出席者は34名、委任状出席者3名、欠席者3名、理事総数40名でした。また、松本宗次郎監事及びオプザーバー(次期理事候補)として磯山喜郎氏(51回生)、松本勇夫氏(49回生)、藤村みづのさん(53回生)、内藤博氏(61回生)にも出席していただきました。山口毅理事長の挨拶に続き、議長に山口理事長を指名し、また、議事録署名人には川井静樹氏(58回生)、日野孝治氏(77回生)を指名し、2議案について審議を行いました。

第一号議案 平成17年度給費奨学生枠について

前田専務理事から平成17年度の母校への奨学金支給について、1年生から3年生の部活動奨学生17名、学習活動奨学生8名計25名に給費したい旨の提案がありました。(前年度は17名)併せて、支給基準を設け一定基準をクリアした生徒に支給することを確認し、理事全員の承認を得ました。なお、平成17年度の年間支給額は300万円になります。

第二号議案 選考委員選任の件

前田専務理事から定款改正に伴い、常任理事、推薦理事の選出及び今期が理事改選

期に当たり、二役の選出が必要になることから選考委員を選任し、選考委員会を設置したい旨の提案がありました。結果、前田理事(45回生)、安河内理事(52回生)、前田専務理事(55回生)、羽野理事(59回生)、渡口理事(70回生)を選考委員とすることで理事全員の承認を得ました。

報告事項

前田専務理事、川瀬事務局長より以下の7項目について報告し了承を得ました。

- (一) 収支報告(平成16年4月～平成17年1月) テナントの家賃収入と年会費の増加により、4月から1月までの収支は黒字(約730万円)になり、年度を通して同程度の利益が出る見通しです。
- (二) 年会費納入状況について 平成17年1月までの会費納入者数は2,519名で平成15年度に比べ285名の増加です。会員皆様のご協力をお願いします。
- (三) 代議員選出の報告について 定款改正に伴い、各回生からの選出による代議員総会を行うことになり、各理事及び学年を代表する会員の方へ代議員選出をお願いしており、現時点

での回生毎の代議員の報告を行いました。1月末現在代議員141名。(定数200名以内)

(四) 会館建物関係工事の費用支出について

- ・ 2階防犯シャッター設置費用(12月) 220,500円
- ・ 加圧ポンプ取替費用(12月) 183,750円
- ・ 高架水槽電極交換及び配線盛替費用 94,500円
- ・ 受水槽サビ止塗装費用(1月) 199,500円
- ・ 高架水槽サビ止塗装費用(2月) 178,500円

2階事務所は土、日曜日に無人になることから防犯対策上シャッターを設置しました。また、会館の老朽化も見られ定期的な修繕費用が発生する見通しです。

(五) 会館のしおり作成

会館を積極的に利用してもらうために、会館のしおりを作成しました。利用方法としては入会会員(福翔高校

卒業生入会式)、全国合同同窓大会、各支部総会、貸会議室利用者などに案内していきます。

(六) 会報記事投稿の依頼について

1月号から企業紹介、恩師の思い出、部活動の思い出、同窓生の動向など新しい企画を組みシリーズ化したいことから理事を通しての投稿依頼をしました。

(七) 活動スケジュール

- ・ 2月28日(月) 福商会入会式 福翔高校
- ・ 3月1日(火) 福翔高校卒業式 福翔高校
- ・ 4月7日(木) 福翔高校入学式 福翔高校
- ・ 5月11日(水) 臨時理事会 福商会館
- ・ 5月20日(金) 福商会ゴルフコンペ クイーンズヒルズ
- ・ 5月28日(土) 代議員総会、理事会 八仙閣
- ・ 6月12日(日) 全国合同同窓大会 ホテルニューオータニ博多

第55回福商会全国合同同窓大会開催のご案内

- 日時 平成17年6月12日(日)
- 第一部 式典(3階芙蓉の間)午後3時30分～午後4時30分
- 第二部 懇親会(4階鶴の間)午後5時～午後7時
- 会場 ホテルニューオータニ博多
- 会費 6,000円

福岡市中央区渡辺通一丁目1-2 ☎092-714-1111
お問い合わせは福商会事務局まで ☎092-711-9890

PICK UP

第4回福翔高校との懇談会開催 本年より1年次に

特別進学クラスを2クラス編成

第4回の福翔高校、保護者との懇談会を1月28日福翔高校において開催しました。

福翔高校から段裕明校長他4名、保護者から青木弘志PTA会長他4名、福商会から山口毅理事長他4名の合計15名が出席し意見交換を行いました。内容は

- (1) 進路保障のための教育課程編成について
- (2) 寮建設に関する要望書(福岡市教育委員会へ提出)について

この2点について話し合いを行いました。

(1)については総合学科に改編し5年目となり、進路保障、教育内容、授業方法についての課題が浮き彫りにされてきたことから17年度の「基本方針」を定め、進学、就職面での充実を図りたいと学校からの説明がありました。

■基本方針

- 1、4年制大学の合格者を増加させる。
 - 2、国公立大学受験に対応する。
 - 3、就職希望者へ早期から対応する。
- 上記の方針に基づき本年度から①1年次に特別クラスを2クラス編

成する。

②1年次特別クラスについては国語、数学、英語の3教科を4月より全員補習とする等の改善を行う。

(2)については現在の生徒の通学範囲が福岡市南区、筑紫郡、太宰府市、春日市、大野城市、筑紫野市に集中しており、全生徒の73%を占めています。福翔高校の通学区は県内全域としている中で①市立高等学校としての使命を果たす②1000年の輝かしい歴史と伝統を持つ部活動の活性化を図るためにも、寮建設の必要性を福岡市教育委員会へ学校、福商会共々要望してゆくことの確認を行いました。

奨学育英基金に寄付

3月1日、山内正樹先生(故人)のご家族が来館され奨学育英資金にと30万円のご寄付をいただきました。心あたたまるご厚情に深く感謝申し上げます。厚くお礼申し上げます。

福商会役員、福岡市教育委員会を訪問

母校の特別進学クラスの設置を要望

山口毅理事長他4名は2月1日福岡市教育委員会を訪れ、植木とみ子教育長、桑野素行理事、八山宏課長と話し合いを行いました。今回は昨年に引き続き3回目の訪問であり、現在、学校と定期的に意見交換会をおこなっている中で現在の課題について、福翔OBとしての要望を行ったものです。

- ① 大学進学者が増える中で(生徒の80%が進学希望)特別クラスの編成や補習の強化を本年度から実施して貰うようお願いした。(保護者からの要望も強い)
- ② 福岡県内全域からの通学区にもかかわらず、実情は福岡市の南部地域を中心とした通学となっており、市立高校としての使命を果たすためにも寮建設の必要性を強く訴えました。



定款改正説明会開く

評議員、参与(理事経験者)に対しセントラルホテルフクオカにおいて、12月16日42名が出席し、定款改正説明会を行いました。山口理事長から定款改正を行うに至った経緯の説明に続き、前田専務理事より改正のポイントについて説明がありました。評議員、参与からは「社団法人の見直しが進められているが対応策は考えているのか」「支部としての役割は」など質疑がでしたが、定款改正についてはご理解していただきました。

相談役会開催

新年の1月11日天神テラにおいて、相談役の中牟田、大山、渡邊、山崎、蔵本の各先輩と山口理事長他三役との定例相談役会を開催しました。(速水相談役は欠席)。席上、山口理事長より定款改正についての説明、福商会の貴重な資料を残すべく資料館の建設の必要性などについて検討してゆきたい旨の話など意見交換を行いました。



学から

これがからの福翔高校

教務主任 江口 武俊

全国的な教育改革

の波にのり、平成十二年度より福岡商業高校は、

名称も福翔高校へと変わり、

総合学科高校として新たなスタートを切ったことは、皆さんご存知のことと思

います。

それから、五年が経過し、今春3回目の卒業生を輩出することができました。

そこで本校では、この五年間を振り返り、これからの福翔はどのようなべきか、これからの生徒たちにとってどのような教育をしていくべきかについて、現在検討を重ねているところです。

そこで、現時点で変更を考えている方向性をみなさまにお伝えしたいと思います。

一、五年間の総括について

①総合学科の特徴的科目について

総合学科高校では必修科目となつて一年次の「産業社会と人間」を通して働く事の意義や様々な職業について学び、自分の将来の夢や進路について考えることができるようになっていきます。生徒は自分の将来の目標を定めることができ、日頃の学習に意欲的に取り組んでおり、一定の教育的効果をあげていると考えられます。また、本校では全国的にも珍しい「日本語コミュニケーション」も開設しており、生徒の自己表現能力や発表能力向上におおいに貢献しています。

②卒業生の進路について

福商高校時代の最後の頃と比較して、進学を希望する生徒が増加し、その結果私立4年制大学への進学者が増大しています。そのような意味では、一定の成果をあげていますが、前述の総合学科の特徴的な科目のせいで、普通科高校と比較すると、受験科目の単位数が不足することになり、受験科目の多い国立大学の受験は不利となっています。

就職については、現在の社会情勢から判断すると100パーセントが就職できていることは、大きく評価できるのではないかと考えられます。

③選択授業について

総合学科となつて、生徒は自分が作った時間割に沿って二年次以降の授業を受けます。そのため、少人数クラスの授業が多くなりました。このことは、生徒一人一人に目が届き、とてもきめ細やかな授業が実施できます。しかしそれと同時に、生徒は取りやすい科目ばかり選択して、楽をして卒業しようとする生徒がいることは残念なことです。また、多くの選択科目を設定しているため、生徒にどのような力をつけさせなければならぬか体系的に考えることに欠けてくることも注意が必要です。

④本校の現在の課題について

以上のように、総合学科にすばらしい魅力があるとともに、問題点も多

あります。そこで、本校では次の3点を大きな課題としてとらえ、取り組みをすすめることになりました。第一は、教育課程の見直しです。教育過程の改善により、生徒の進路実現をさらに進められることを考えられます。第二に、総合学科の特徴的な科目の見直しです。総合学科として課せられた科目を、他校と同じように充実させていかなければならないか等を検討することです。

総合学科高校は、そもそも実業高校を中心に設立されており、学習意欲を持っていない生徒を、いかにして学校に来させて、卒業後に働くという気持ちにさせるかの対策に考えられた高校ともいえます。はたして、本校で他の総合学科高校と同じような総合的な学習が必要なのか検討が必要です。第二は、商業教育の早期取り組み問題です。現在では、就職を希望している一年次生には、何も商業科目が用意されていません。また、長い商業教育の伝統を失わないためにも、できる限りのものを体系的に提出する必要があると考えられています。

二、他校への学校訪問から

そこで、他校ではどのような取り組みがなされているのかを調査するために、昨年広島県福山誠之館高校と尾道北高校の二つの総合学科高校を訪問しました。その二校に共通して言えることは、総合学科高校の特徴である選択授業を大いに利用して大学受

験の指導に役立っているということでした。もともとが普通高校で進学に力を入れていた学校でしたが、私学に進学実績等で追い越され、危機感を感じ、広島県が進学指導の推進校として総合学科高校化を施行したのもよかったです。ただ、受験勉強だけをバリバリさせるのではなく、「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」を使って、大学で学ぶ学習に興味を持たせて、学習意欲を喚起していくという考え方を持っています。レベル的には現在の本校よりはかなり上の学校ですが、福翔高校もこれらの取り組みを大いに参考に、この二校へ近づきたいものだと感じました。

三、これがからの福翔高校

以上のような経過から、本校では平成十八年度入学生に対して次の三つの構想をもつて、改革をしていく考えを持っています。

①生徒の進路実現に必要な基礎基本を充実させるため、自由選択科目を削減し、「コース制」に近づけた教育課程を編成していく。

②進学特別クラスを設けて、特に国立大学受験に対応できる学力を身につけさせる。このことは、現行の教育課程内でもできるので、本年度入学生から試行を開始しました。

③就職希望生徒に対して、一年次より商業科目を学習させる。

以上のような考えで、これからの福翔を変えていこうとしています。皆様のご期待に応えられるようがんばっていきたく思っていますので、ご声援をよろしくお願ひします。

優勝おめでとう！

三浦裕 君 (2年生)

**やまなし・ゆめふじ国体
男子ショートトラック・
少年男子500mで優勝！**

2月2日～3日に行われたやまなしゆめふじ国体に福岡県代表選手として出場した三浦裕君(2年生)が男子ショートトラック・少年男子500mで見事優勝しました。

また、1月6日～9日にセルビア・モンテネグロで行われた「2005世界ジュニア・ショートトラックスピード選手権大会」でも個人総合11位と健闘しました。

青葉 葵 さん (1年生)

**ススキワールドカップ2005
第16回エアロビック
世界選手権大会で優勝！**

「ススキワールドカップ2005第16回エアロビック世界選手権大会」の決勝が4月10日、愛知県で開催中の愛知万博長久手会場EXPOドームで行われました。ユーストリオ部門決勝に他校の二人と共に出場し、見事優勝しました。



体育部の主な成績

(平成17年1月～3月)

バスケットボール部

【新人大大会】

◇2回戦 福翔88—61北九州高専

◇3回戦 福翔84—79戸畑

◇決勝リーグ ◎第3位

福翔77—93福大大濠

福翔63—66福岡第一

福翔74—55中村三陽

その他の活動

三浦 裕(2年2組)

平成17年1月6日(木)～9日(木)

【2005年世界ジュニアオリンピック・

ショートトラックスピードスケート選手権大会】

会場 セルビア・モンテネグロ(ヨーロッパ)

◇1500m 10位 ◇500m 5位

◇1000m 23位

◎総合11位

平成17年2月2日～3日

【山梨国民体育大会出場】

◎500m 優勝

◎1000m 6位

京谷 彩花(2年5組)

平成17年3月27日

【第30回全日本バトントワリング選手

権大会ダンス・トワリング部】出場

会場 札幌市 北海道立体育センター

篠隈光彦氏(68回生)母校で講演



4月22日、105回の開校記念を迎えた母校で、篠隈氏ご自身の会社経営の傍ら、在福岡ネパール王国名誉領事でもあり、ネパールの国際交流を8年に亘って継続してこられたボランティア活動や、氏の生き方、考え方などについて「世界の平和と人類の福祉のために自ら進んで貢献する」のテーマで1時間の講演がありました。学校からは段裕明校長他先生方、全校生徒、保護者の皆さんが出席し熱心に聞き入っていました。

【講演要旨】
●ネパールでの支援活動について
(1) 貧しい子供達への教育支援…学校、図書館の建設と運営協力
(2) 産業育成のためのコーヒープクリの技術指導など
●何故国際交流を通してボランティア活動を行うのか
～2つの影響～
(1) 母校の校歌が自分の生き方、考え方の指針となった。
潮湧き立つ玄海の 空に輝く商星を
仰ぎて正す羅針盤 さして行方は千万里
いざや帆を揚げ舵を執れ 同舟一千有余人、
この校歌を歌ったことが、国境を越えた海外にたいする意識となり、世の中のために、世界のために自ら行動をおこせと奮いたさせてくれた。
(2) 出光興産に入社し、店主出光佐三氏(2回生)から体得した教訓。

権利と自由の主張ではなく、責任と義務を大切にする道徳の思想からくる「互譲互助」の精神が世界の平和と人類の福祉の実現につながる。「真に働く姿を顕示して国家社会に示唆を与えよ」ここでの教えも日本人として又、自分の生き方、考え方に示唆を与えてくれた。

最後に生徒の皆さんに望むこととして、「母校の先輩たちには海外に目を向け活躍している人が沢山居り、国際関係ではナンバーワンの高校と言われるよう、芽吹いてくれることを期待したい。また、学生時代は色々なことにチャレンジできる時期でもあり、ボランティア活動、留学生との交流などを通して視野を広げ、国際人として活躍して欲しい」と熱く語ってくれました。

17年度 大学等合格者数一覧

国立4年制大学	9	私立4年制大学	248
福岡教育大学	1	東京国際大学	1
佐賀大学	5	東洋学園大学	1
山口大学	1	東洋学園大学	1
九州工業大学	1	東和大学	1
琉球大学	1	徳山大学	1
計	9	日本体育大学	1
私立短期大学	26	日本文理大学	2
西南学院大学	22	富士常葉大学	1
福岡大学	94	私立短期大学	26
九州産業大学	51	筑紫学園短大	3
久留米大学	17	福岡文苑短大	3
中村学園大学	7	福岡文苑短大	3
久留米工業大学	3	中村学園短大	8
筑紫学園大学	18	香蘭女子短大	5
福岡文学院大学	2	創価女子短大	5
福岡工業大学	3	精華女子短大	2
西南学院大学	2	計	26
福岡国際大学	1	大学校	1
日本大学	4	職能開発総合大学校	1
専修大学	2	計	1
近畿大学	3	看護医療系専門学校	17
梅光学院大学	1	計	62
文芸学芸太平洋大学	1	専門学校	17
亜細亜大学	1	計	363
九州共立大学	1	合計	363
広島修道大学	2		
淑徳大学	1		
成蹊大学	2		

平成16年度 就職状況

	希望者数	内定者数	内定率
平成15年度	56	52	92.9%
平成16年度	36	36	100.0%

PLAYBACK

青春 プレイバック

②

福商剣道部 創部百周年

福商剣道部のあゆみ

剣道部歌

一、青春當ほころびて 若き力に咲く花は
正気に匂う 破邪の剣 爛漫の春をも何ぞ
腕を叩く 健児の舎 福商 福商 エイ福商

二、灼熱夏は若人の 意気燎原の火と燃えて
真金 黒金 白練の こぼりて降魔剣をなす
筑紫の磯にうつ潮の たゆまぬ力貫ちぬかん

三、三更に雁なきて 清夜に剣を抱き寝れば
武持の夢ぞ 惚はるる 剣尖すみて純潔の
健児福商の名に負えば 竹刀尚よく鉄たたん

四、寒寒飢えをさすとも 烈たる意気の小手の上
兼よ走れ必殺の 剣を誰かさくべきぞ
吹雪に歌う黒田武士 福商 福商 エイ福商

五、剣心一致敷島の 男児の意気ぞ筑紫路の
堅粕原不知火の 燃ゆる力に沸きたされ
咲きはこるとも散るとても
福商 福商名をおしむ 清き心ぞ大和桜

大正十四年(一九二五)七月、福岡日日新聞社主催の中等学校五大競技大会(剣道、柔道、弓道、野球、庭球)で初優勝して以来「福商に剣道部あり」と称され、その伝統は戦後まで引き継がれる。この福日大会の剣道部門も戦後、全九州高校剣道大会(後に玉竜旗大会)として復活し、本校は戦前二回、戦後の玉竜旗大会で三連勝を含む七回、通算九回優勝を飾り、不滅の栄光を校史に刻んだ。

この大記録は、いまだに破られていない。

まずは、玉竜旗大会過去九回の歴史を振り返ってみよう。*○の数字は卒業回す

福商剣道部といえは

“玉竜旗”

福岡市立福岡商業高等学校剣道部は、明治三十八年(一九〇五)に創部され、学校名改称に伴い福岡市立福岡高等学校剣道部になり、来る平成十七年十月二十九日には、創部百周年を迎えます。この間、様々な人達に育まれ、数々の栄光を積み重ねながら、その発展と共に千余名のOBを世に送り出してきました。まさに剣道界の中核としての役割を担ってきたと言っても良いでしょう。

また、福商剣道部は勝負に徹することもさながら、剣道を通じての“人間育成”も重視し、その精神は大人になっても、根強く人間形成の基盤となり、代々、後輩たちに受け継がれてきました。

今回、福商剣道部創部百周年を記念して、その栄光の軌跡をご紹介します。

◆一回目優勝(大正14年7月21、22日 赤坂門 武徳殿 参加校45校)

▼優勝戦【福岡商業】

- 木戸口 24
- 和田 24
- 城戸 24
- 中村 23
- 西牟田 23
- 鹿兒島一師
- 仁王
- 小松
- 瀬戸口
- 橋口
- 西野



◆二回目優勝(昭和17年7月22日 東公園内道場 参加校64校)

▼優勝戦【福岡商業】

- 小西 41
- 井本 40
- 土屋 40
- 大原 40
- 今利 40
- 樋口
- 坂田
- 黒田
- 増田
- 北原

◆三回目優勝(昭和30年)

▼優勝戦【福岡商業】

- 藤井 55
- 藤田 54
- 木下 54
- 河村 54
- 手嶋 54
- 若松高校
- 菊川
- 下津
- 島津
- 加納
- 桑原



西日本新聞 (昭和30年7月23日)

◆四回目優勝(昭和31年7月16、17日 福岡スポーツセンター)

▼優勝戦【福岡商業】

- 池田 55
 - 滝田 55
 - 原嶋 55
 - 藤田 55
 - 藤井 55
 - 若松高校
 - 島津
 - 松本
 - 川下
 - 加納
 - 桑原
- (×は引き分け)

◆五回目優勝(昭和33年7月24、25日 福岡スポーツセンター)

▼優勝戦【福岡商業】

- 池田健 53
- 池田広 57
- 白木 55
- 越智 57
- 松田 57
- 嘉穂高校
- 合野
- 長尾
- 小林
- 三島
- 馬場



昭和33年度の剣道部

◆六回目優勝（昭和34年7月25、26日
福岡スポーツセンター）

▼優勝戦【福岡商業】【国東安芸高校】

○光安 68 ●河野
●佐々木 68 ×安部
○池田 59 ●今富
○秋山 59 ●堤
白木 58 ●佐藤
（×は引き分け）



西日本新聞（昭和34年7月27日）

◆七回目優勝（昭和35年7月29、30日
福岡スポーツセンター）

▼優勝戦【福岡商業】【国東安芸高校】

○高木 69 ●堤
●倉掛 69 ●安部
●秋山 59 ●今富
●平野 59 ●河野
○池田 59 ●佐藤



昭和35年度西日本スポーツ賞受賞

◆八回目優勝（昭和50年7月26、27日
福岡市市民体育館）

▼優勝戦【福岡商業】【東福岡高校】

○山岡 74 ●土器
●足達 74 ●東
●吉村 75 ●横川
●榑木 75 ●森田
○白木 75 ●寺沢
●水野 75 ●川



昭和50年15年ぶりの優勝

◆九回目優勝（昭和51年7月26、27日
福岡市市民体育館）

▼優勝戦【福岡商業】【PL学園高校】

○栗山 77 ●道村
●鬼木 75 ●福島
●吉村 75 ●山中
●榑木 75 ●林
○白木 75 ●山本
●水野 75 ●



昭和51年度西日本スポーツ賞受賞

■その他の成績

国民体育大会では昭和三十五年に優勝、五十一度は第4位に入賞。全国大会には8回出場、2位1回・3位4回。九州大会では優勝2回の成績も残しています。

■小西、池田両氏の卒業後の活躍

「西日本一の名剣士」と異名をとった小西雄一郎先輩（三十八回生）は、卒業後は西南学院大学に進学、戦後は西日本鉄道に入社。昭和二十七年には西日本県対抗で個人優勝、二十九年には全日本選手権に優勝し、九州に初めての優勝旗をもたらした。また、玉竜旗三連覇、国体初制覇の原動力となった池田健二先輩（五十九回生）は卒業後、早稲田大学へ進学し昭和三十八年、三十九年、関東学生選手権、三十九年には全日本学生選手権を獲得した。

■名門古豪復活を目指して

「ここ数年、県大会出場もできず低迷していましたが、今回の創部百周年を機に福翔剣道部、福商剣友会が一丸となって『奪取！玉竜旗・夢よもう一度！』

をスローガンに掲げ十回目の『玉竜旗優勝』を目指しています。

また、本年度からは寮を設け、優秀な中学生を受け入れる体制を整え、本年度は新入生二名が入寮しました。

福翔剣道部は「名門・古豪復活」に向け新たな鼓動が聞こえ始めました。「復活の日」は近いと確信しています。

福商剣道部 創部百周年 記念行事のご案内

■日時 平成17年10月29日（土）

■百周年記念中学校剣道大会

◎福翔高校にて9時より

■百周年記念式典

◎八仙閣にて19時より

「玉竜旗大会優勝！全国大会優勝！」を合言葉に、また、「剣道を通じてよりよき社会人になろう！」をモットーとして日々練習に励んでおります。

我々を育ててくれた福商剣道部にたいして、福翔剣道部OB会「福商剣友会」は少しでも恩返しができるよう、そして、今後も福商剣士魂が受け継がれていくよう福翔剣道部を応援し、支援してまいります。

最後に、福翔剣道部はこれからも『玉竜旗優勝』を常に目指し、日々頑張っておりますので、皆様の応援、ご指導の程宜しくお願いたします。

跡部 宗教（七十九回生）

35回生同窓会

平成17年度の35回同窓会は例年通り2月11日に三鷹ホールで66回目の同窓会を中牟田喜郎(30回生)蔵本隆(44回生)相談役を迎えて開催しました。今年は福岡大学名誉教授、南川整形外科病院名誉院長の高木直人先生に「老いをいかに楽しく生きるか」の講演(1時間30分)をお願いをし、大変意義ある同窓会でありましたが、出席者は15名で年々少なくなり淋しい限りであります。

(庄山雅敏)



52回生古希祝同窓会の案内

■日時 平成17年10月5日(水) 17時〜

■場所 セントラル・ホテル

■会費 7000円

※問い合わせは各クラス幹事へ

おめでとう

福太郎クラブ優勝

第31回全日本クラブ・バスケットボール選手権大会

福太郎クラブは今年で創部8年目。新人を含む18人の部員全員が「味のめんたい福太郎」(福岡市南区)の社員だ。福岡商(現・福岡高)時代にバスケットの選手だった山口毅社長が「バスケットで日本一になれば仕事でも一流になる」と思い立ち、自前でチームをつくった。

創部当初のメンバーはわずか6人だったが、山口社長の熱意が徐々に部員を増やしていった。仕事後の練習時間を確保するため、自社工場5階に専用体育館を建設。さらには福商バスケット部の後輩である中村正則さんをコーチに招き、チームに「一流」の血を注入した。

全体練習は週2回。足りない分はそれぞれ自主トレで補い、レギュラーの座を競い合っている。中村コーチは他県での大会などにも積極的に視察に出向き、情報を収集分析。強豪チームの練習法を取り入れて強化に生かした。

その成果が出たのが、3月12〜14日の全日本クラブ選手権だった。九州ブロック1位の福太郎は得意の速攻を生かして勝ち上がり、決勝でスーパーリーグ・新潟アルビレックスのサテライトの新潟アルビA2(新潟)と激突。プロ予備軍が交じる強豪を相手に第一クォーターでは19-25とリードを許したが、第二クォーターで逆転。そのまま

85-74で優勝を決め、参加した20061クラブの頂点に立った。(3月30日「西日本スポーツ」より抜粋)



福太郎クラブの福商OB達

◎監 督 山口 毅 (52回生)
◎部 長 平野 勝之 (52回生)
◎コ チ 中村 正則 (57回生)
◎選 手 藤本竜太郎 (95回生)



中村コーチは西南大学2年の時に東京オリンピック日本代表候補に選ばれ、合宿にも参加した名選手であった。

59回生の皆さーん!

桂林

同級生同士で出かける楽しい旅です!!

へ出かけませんか?

同級生だけで中国の桂林へ出かけませんか? 変化に富んだ素晴らしい企画になっていると思います。

- 期 日 2005年10月9日(日)~13日(木) 5日間
- 旅行費用 79,000円(食事付き、観光付き、デラックスホテル泊)
- 旅行会社 (株)トラベルルック JTB中森さん(1組)
- 福岡空港発着 集合時間/15時 帰着時間/16時30分

お問い合わせは

JTB中森 ☎ 0120-602-444

(10~16時受付、日曜・祭日は休み)

59回生幹事 羽野恭子(6組)



福岡商高(現福岡商高)に1956年に赴任して以来、サッカー部を31年間率いて一時代を築き、福岡県、九州、日本の各サッカー協会でも要職に就いた。特に九州サッカーの発展には社会人から小学生まで各世代の九州大会を創設するなど尽力。72歳になった現在も九州サッカー協会会長として、底辺の拡大に力を入れている。

「九州は一つ」が現在の九州の高校サッカー指導者の合言葉になっているが、その源流は藤井氏が提唱し、福商、鹿美、大分工の3校が1960年代の中ごろに始めた、当時は珍しい越境合同合宿。以来、「昼の試合、夜の飲み会」(藤井会長)で、指導者が互いに修練を続けてきたことが、地理的ハンディのある九州を全国の「先進地域」に押し上げた理由の一つだ。

九州サッカーの礎築く

体育功労者 藤井 正訓さん

熱い「生き字引」

九州サッカー協会の創立50周年を契機に1999年、自らが保存していた膨大な資料を基にして540ページの「九州サッカーのあゆみ」を、ほぼ一人で執筆・編集した。数力所に転移したががんが治癒し、闘病生活が終了したばかり。熱意が体を動かした。

出版の直後、脳梗塞で倒れ、右半身に若干のまひが残る。今回の取材もリハビリから自宅に戻ってきた直後だったが、応対は終始、笑顔。九州の高校サッカーの発展の経緯を中心に、数時間にわたり熱く語っていた。

座右の銘は「情熱を傾けて成し遂げる信念を持つ」。本年度の全国高校選手権を制した鹿児島実の松沢隆司総監督や、国見の小嶺忠敏総監督ら日本を代表する指導者も、昔、教えた。間柄。九州サッカーのすべてを知る「生き字引」といえる人だ。(森竜太郎)

藤井 正訓(ふじい まさのり)

1932年12月10日、山口県下関市生まれ。福岡学芸大(現福岡教育大)卒。福岡商高(現福岡商高)サッカー部を56年から31年間率い全国高校選手権5回出場。88年から日本サッカー協会理事、98年から同参与。2002年から九州サッカー協会会長。

2005.2.18
西日本新聞朝刊より転載

福商での学びは

人生のプラス

弁護士 宮原 守男(43回生)



私の小学校は警固。クラスであまり目立たない児童で、体操・図画・音楽はすべてダメで、何をやる

っても不器用であった。私の学力では福商がよいと言われて、受験したが不合格。尋常高等小学校の一年を経て、再挑戦して漸く合格した。

しかし、福商での先生に恵まれ、国語と担任は蒲池先生、支那語は住吉先生。数学の先生の名は失念したが、毎月一回先生の自宅で、数学、とくに幾何を教わり、幾何の参考書を一年がかりでマスターした記憶がある。現在弁護士をしているが、法律の論理は幾何の証明問題と軌を一にし、数学の先生から論理と考え方の基本を教わった。支那語の住吉先生からは、よく自宅に遊びに行き、社会の仕組みや貧しい人に対する思いやりの精神を教わったように思う(住吉先生は戦時中、左翼思想の持主であった。その思いやりの精神が弁護士になるとき、貧しい人の味方になりたい、労働事件の組合側の弁護をしたいと思つた下地となっている)。

さらに福岡での重要な学びは、複式簿記、算盤、速記であった。とくに複式簿記の知識は、弁護士になってから活かされ、会社の経理(損益計算書)がわかる弁護士として、

大学、高校の理事長、会社の代表取締役会長として、学校経営、企業経営を担当するに至っている。

その意味で、福商での学びは大いに人生のプラスとなっているのである。

福商から福中に転校、そして東大

福商三年のとき、担任の蒲池先生に頼まれて、同級生の野村君(土居町の瀬戸物屋の老舗)に数学を教えた記憶がある。しかし戦争が激化して工場動員に狩り出され、学校で正規に勉強ができなくなり、野村君との勉強の補習も沙汰止みとなった。そこで、どうしても勉強を続けたい一念から担任の蒲池先生に相談し、福岡中学に転校をすることとなった。福商から福中に転校した先輩(石村善助さん等)の例があることを聞いたからである。

福商と福中との間には、履修科目の違いから、もう一回三年をすることになった。そのため、最初の入学の失敗と加えて都合二回落第したことになる。

しかし、青春時代での落第や挫折は更なる成長へのスプリングボードとなったように思う。

略歴

- 52年東京大学法学部法律学科卒業。
- 54年東京弁護士会所属。
- 61年虎の門法律事務所開設。
- 74、77年最高裁判所司法研修所刑事弁護教官。87、
- 01年学校法人平和学園理事長
- 89、(佛)教文館代表取締役会長(現職)他学校法人山梨英和学院理事長、学校法人東京女子大学、明治学院理事、評議員(現職)、(佛)の監査役(現職)等を歴任。
- また、砂川事件、最高裁、三河島列車衝突事件の弁護士人、ロッキード事件(丸紅ルート)の主任弁護士、創価学会(信平、シートル、若者事件等)の弁護団長など多くの刑事、民事事件を担当。

逍遙歌回顧録

高田 芳昭 (65回生)



朝日昇る筑紫野に〜で始まる逍遙歌は、皆様はあまり耳にした事がないと思いますが、今回京阪神支部の同窓会で披露したところ、逍遙歌作成にまつわるエピソードを出す様にと、福商会より38年ぶりの宿題を戴きましたので、ペンをとりました。

■野多目校舎の思い出を歌に

私達65回生は、昭和39年に堅粕校舎より野多目校舎に移転して初めての入学です。ちなみに東京オリンピックの年であり、新幹線が開通した年でもあります。

私は、入学してすぐに応援部に入部しました。福商の応援部は、大正6年頃から存在していたのですが、昭和29年頃に一度無くなり、私の3年先輩になる中山洋治朗先輩(初代団長62回生)が中心となり昭和38年に運動部の中に改めて創部されました。

応援部入部後、諸先輩から熱意・気力である福商精神を植え付けられ、又、当時福商には校歌を始めとして10数曲の歌があり、すべての歌をきびしく教え込まれてきました。私も4代目の団長を務め、昭和42年に卒業を迎える事になり、野多目校舎での高校生活の3年間を何等かの形で残したいと思い、歌を作る事にしまし

た。この当時の歌は当然の事ながら殆どが千代松原校舎・堅粕校舎を舞台にして作られており、そこで私は、野多目校舎を初めて舞台にした逍遙歌を作る事にしました。

逍遙歌とは、そぞろ歩きながら学校を賛美する歌と云う意味で、古い大学には存在していますが、殆どの高校には存在していません。

さて、逍遙歌を作るにあたり、福商精神である熱意・力を題材として自分なりに解釈し、緑の森から浮かび上がる真つ白な校舎、その校舎を映し出している野多目ヶ池を背景に、歌詞の1番に朝日昇る〜で始まり、2番に熱溶岩のごときなり、3番に意気大空のごときなり、4番に力荒波寄するよに〜、そして5番に夕日染めたる〜とし、入学してから3年間を高校生活の1日に置き換えて作りました。

又、メロディについては、やはり卒業間近の時期に作りましたので、どうしても卒業していく寂しさを感じさせてしまいました。自分のイメージ通りに出来ませんでした。

次に楽譜を作るにあたっては、私自身

不得手だった事もあり、当時同級生だった親友の宮重美信君(当時生徒会副会長)に依頼し、宮重宅の薄暗い部屋で彼の下手なギターで音程を取り譜面を完成させました。

尚、逍遙歌を初めて披露したのは、福岡市民会館で、卒業を控えたこの時期に行われた予餞会の時でした。応援団の演奏が一通り終り、その後ラスバンド部の内川広志君(同級生)のサックス演奏をバックに唄いましたが、唄い終わって一言「この歌は、あくまでも3年間の自分の想いなので、残すも残さないも後輩である君達1・2年生が決めて下さい。」と会場で話した事を覚えております。

私は、卒業して就職で大阪に行ってしまうましたが、20数年経って福商会合同同窓会に出席し、その際に戴いた冊子に逍遙歌が他の歌と共に掲載されていた事に、卒業当時を思い出し感激しました。私のすぐ後の5代目団長の山下和久君(66回生)6代目団長の寺崎裕幸君(67回生)を始めとして、応援部の後輩達の尽力により、逍遙歌として残してくれた事に感謝しております。

福商に唄い継がれている歌には、校歌を始めとして壮行歌・寮歌・応援歌・凱旋歌・剣道部歌・野球部歌・応援団歌(中山初代団長作)と様々な歌がありますが、その時代その時代の背景があり、青春があらります。その中の1曲として私自身から離れ、一人歩きをして唄い継がれて参り

ました。

創立100周年を越え、福岡商業高校は福岡高校と校名が変わりましたが、これからも逍遙歌にある熱意・気力は福商精神いや福商精神として永遠に残っていくものと信じております。

大阪の空の下より、
フレイフレイ福商！
フレイフレイ福翔！

逍遙歌

作詞・作曲／高田芳昭

- 一、朝日昇る筑紫野に
高くそびゆる野多目山
我等はここに今たたん
福商の山に今立たん
- 二、熱溶岩のごとくなり
友と強く肩くめば
熱き情の炎たつ
福商の山に炎たつ
- 三、意気大空のごときなり
トンビのはばたきながれば
福商健児に意気高し
ああ福商に意気高し
- 四、力荒波寄するよに
烈風たたきつけるよに
福商の誉にぶつかれば
勝利の旗は我がものに
- 五、夕日染めたる野多目池
水の清さに身を写し
後ろに福商の校舎おき
長き坂をば歩きゆく
ああ 福商ぞ 我が福商

「母校」そして「母港」

元福岡商業高校教諭

齊藤 幸雄



英語の福商

昭和29年4月、私は大学卒業と同時に福岡商業高校に赴任した。当時の堅粕の校舎には出来町の旧国鉄博多駅から御笠川沿いに歩いて出勤した。

「福商は戦前パーマー博士のオールメソッド英語教育実践校の一つだった英語教育の名門校※注1）だからと、私を福商に推薦して下さった大学のゼミの教授の言葉が今も記憶に残っている。この福商で私は文字通り「教えることは学ぶこと」を体験した。

「師恩」という言葉があれば、私は福商英語科の先生方に「師恩」を受けた。とくに、在校生や卒業生達が愛情と畏敬をこめて「ベラさん」と呼んだ主任の金子金一先生（※注2）には非常に多くのことを教えられた。例えば「ジ」と「ヂ」の発音の違いやその教え方など、学生時代は無意識であったことが、金子先生のお陰でまさに「目から鱗が落ちた」。

先生は東京外語大の卒業で、当時文部省が国策として日本の英語教育改善の指導者として招聘した、世界的英語

学者ハロルド・E.パーマー博士に直接薫陶を受けられたことは後日知った。博識でギリシャ神話や旧約聖書にも詳しく、何よりも「英文書き」の名人であった。新米教師の私に「期末試験の問題に、教科書の教材をそのまま使つては生徒が英文を読む力は養えない。教材を咀嚼し換骨奪胎し、自らで英文を書き問題を作れ」と教えられた。勿論その際英文文に誤りは許されないし、生徒の力に則した語彙や構文で英文を書かねばならない。私はこれで随分と英文を鍛えられた。

さらに福商英語科で忘れられない思い出は、昭和30年代の頃、全国の高等学校で番多く使用されていた教科書に添ったワークブックを編纂、出版したことである。版元との交渉や編集の実務を、後年その出版社の重役となられたK氏と、あくことなく取りしきられたのは廣瀬博一、川勝建太郎お二人の中堅の先生方であった。教材の英文を文法的に分析し、註を付けたり、例文や応用文を書き、全員で検討、形にした。校長室で冷たくなった丼物の出前で夕食を済ませたこともあった。原稿締め切りがせまり、市内の

宿で合宿したこともあった。こうして完成したワークブック（全三巻）は三省堂から出版され、全国的に好評裡に受け入れられ、研鑽努力が報われた。その版権料で当時とても高価であった、OED一揃えを買ったことができた。今も英語科の本棚を占めている筈である。

この後も何かと英語科全員で研修に励んだが、その一つがやがてしし教室に発展する「輪読会」であった。これらは何よりも戦前からの「英語の福商」の伝統がその底にあったのではないか。

あの頃英語科には金子先生秘蔵の弟子、出利葉博先生（40回生）がいらつして、生徒達から「子ベラ」の愛称で呼ばれていた。さらに私の数年後、その「子ベラ」先生や廣瀬先生に鍛えられた安河内真彦先生（52回生）が加わり、身内では「孫べつ」と秘かに呼んだ。そして現教頭、宇土健一先生（66回生）は「孫べつ」に教わった「曾孫べら」である。

私は福商が母校ではないが、22年間奉職し、それが新卒からの多感な歳月であったので、福商英語科は「母校」ならぬ「母港」である。一人前の漁師に育てられた港を、いよいよ懐かしく思う昨今である。これからも福商、いや福翔高校の英語科の活躍を祈りたい。

※注1

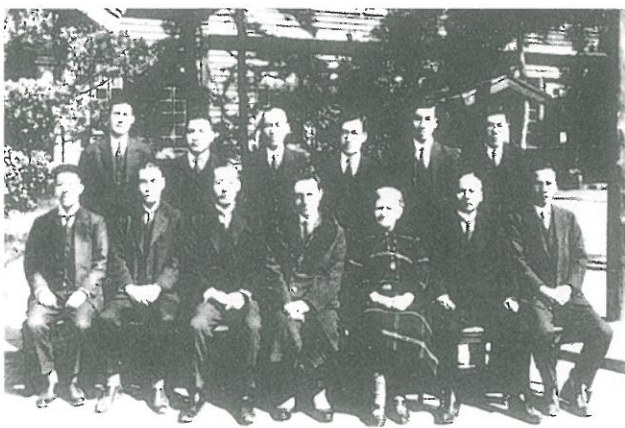
福商は創立時から卒業生の海外雄飛をめざして、英語教育に力を入れて、明治35年から常時英米人教師を採用してきた。昭和の初めにはパーマー・メソッドの実践モデル校であった福島県立福島中学校から清水貞助先生（後に全英連会長）、続いて金子金一先生を菊池校長が招かれ、「英語の福商」時代を築かれた。

※注2



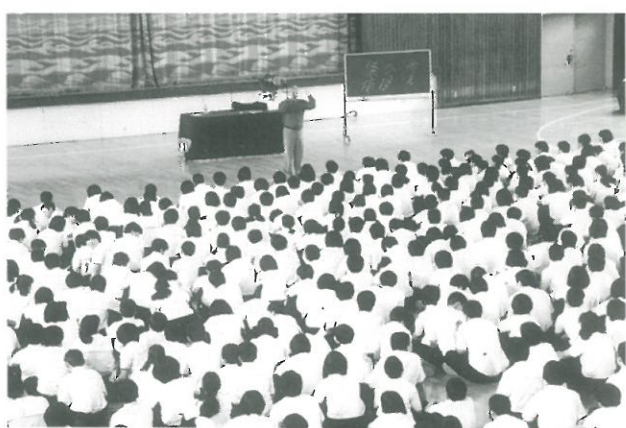
金子先生は昭和10年から43年まで福商に在職され、名調子の英語の授業と共に、生徒の煙草発見は名人芸であった。在学時は恐いが、卒業してからは誰からも「べらさん」と親しまれた名物先生であった。

昭和4年2月、文部省からパーマー博士が英語授業法視察で福商（松原校舎）に來校され、講演された。当日は県内の英語科教師も授業参観した。



中央がパーマー博士、その右は本校の根本ゼネ先生

齊藤先生は昭和57年から59年まで、福岡県の高専学校英語研究会会長を勤められた。



学校での講演

笑いの健康法...その1



(社)中高年齢者雇用福祉協会 主任講師
NPO法人博多笑塾相談役
坂本 徳俊 (54回生)

😊 笑顔はクスリ

私は笑いは人と人を結び、大きな絆だと感じています。

人は笑っているとき一番ステキで、とても幸福そうに見えます。そのほほえみを見ていると、こちらまで楽しくなります。そうです、うつるんですね。笑顔は、流行病と同じ効果があるのです。人と人を結ぶ大きな絆、潤滑油として人間にだけに与えられた天からの贈り物それが笑いです。自分の顔は自分のものだけに、誰も自分で自分の顔を見ることはできません。人様に見て頂くためにあるのです。明るい笑顔はまわりを明るくします。仏教の中に「和顔施」という言葉がありますが、例えば人様に差し上げる財物を持っていないくても、笑顔さえあれば、人の心をなごませほほえみ返しが生まれます。笑顔は世界共通の地球語、スマイルコミュニケーションこそ国際化時代の共通語です。あなたの笑顔、なによりの薬です!!

😊 笑うカオには福きたる

あなたの体内では、毎日約5、000個のガン細胞ができるということを知っていましたか！われわれの体は、生まれたままではありません。毎日変化しています。

古い細胞がはげ落ち、新しい細胞がそれに取って代わります。これが成長、発達、老化というサイクルですね、そしてその数は一生の間に一億個に達すると言われ

ています。

毎日毎日がん細胞ができ大きくなっていったら、人はこんなに長生きは出来ません。元気で長生きできるのは、それを毎日処理するシステムが人間の体にあるからです。それが免疫という仕組みなのです。体外から入ってきた細菌などの異物や、体内の不良製品としてのがん細胞を、処理する仕組みが免疫系です。その担当細胞は白血球の仲間リンパ球で、その一割を占めるのが天然の殺し屋と名付けられているナチュラルキラー細胞です。感動や、笑い、感謝の気持ちはナチュラルキラー(NK)を活性化させるのです。免疫系の活性を落とすのは、過度のストレスと言われています。

😊 心とからだ

気の持ち方と免疫系は、おおいに関係があるのです。それが精神神経免疫学と言つ、新しい学問です。哺乳動物は五億回呼吸して、息を引き取ると言われています。ですから、ゆっくり長い呼吸をすることが大切で、長い息は「長生き」なのです。

貝原益軒の言つ「病氣は氣から」とは、気とは意識を指すのみにあらず、即ち呼吸における「呼吸」・「吸気」の気であると言っています。人間の一生の間に吸う呼吸の量は決まっている。だから早く急いで吸った者は寿命は短く、ゆっくり味わって吸う方が、長生き出来る。医学的に命を延ばす事ではなく、真に人生を感動したり、

大笑いしたり感謝の気持ちをもって生活すれば、寿命は延びます。怒ったり、落ち込んだり、悪口を言ったりすることは寿命を縮めます。「一笑一若」「一怒一老」と言っております。「笑うカオには福きたる」人間はカドがあつたらいいけません。笑い上手な生き方上手！今日一日のプラスの考えかたが、人生をバラ色にします。

😊 笑いは病気にキクゾ!!

日本でもユーモアの効用を医療に取り入れ、温かく病院づくりをやっている施設があります。神戸市の尾原病院では、2ヶ月に一回「お元氣寄席」と言つ院内寄席を開いています。福岡市の伊藤医院では、毎日マジック医療がおこなわれています。昭和62年の夏、がんの患者さんのヨーロッパ・アルプスの、モンブラン登頂が話題を呼んだ、「生きがい療法実践会」を指導している、岡山県倉敷市の柴田病院でもユーモア療法を早くからとり入れています。

この伊丹仁朗先生は、ガンだつて心の持ち方次第では、回復力が高まる。寄席やマジックで大笑いすると、からだの免疫力(細菌やがんに対する抵抗力)を、大いに活性化させることを発表して注目を集めています。又、日本笑い学会(私も会員ですが)の副会長で「元気で長生き研究所」の所長昇幹夫先生は「笑いは心の絆」と題し全国に笑いの健康法師として活躍されています。

(次回につづく)

福商100年史：①

今号から「福商100年史」と題して、母校福岡商業の創立に至った経緯や、福商会報の歴史、校歌の制定、応援歌が生まれたとき、また、数多くの先輩達が活躍された足跡を紙面で辿ることに。よって、福商の歴史と伝統を改めて感じとっていただければとの想いから、連載することにし、また、なおこの掲載記事の史料は平成13年に発行した「福商百年史」から抜粋したものです。

商業教育の夜明け

学校創立までの産みの苦しみ 少林寺校舎の頃(明治17年~34年頃)

わが国における近代教育の制度が定まったのは、明治4年(1871)に文部省が設けられ、翌5年8月に「学制」が公布されてからである。文部省は学制発布で江戸時代からの学校を全て文部省の管轄下におき、大学、中学、小学に編成する方針を公にした。

福岡市(当時は福岡区)では、明治16、17年ごろから商業学校設立の動きが見られるが、実際に商業学校の誕生までにはかなりの紆余曲折があった。当時の博多商人のほとんどは「学問なんて商売の邪魔だ。尋常小学校だけでたくさん」という風潮が強かったからでもある。そんな中、明治19年に福岡高等小学校の付属商業学校として「福岡商業学校」が設立された。しかし、明治23年財政難から廃校となったが、存続の必要性を訴えてきた博多部の有志者たちにより、同年5月に私立博多商業学校が開校した。しかしながら、福岡市の財政逼迫により、再び、明治24年に廃校となった。商業学



■明治末頃の少林寺界隈の風景

校規定が制定される明治31年(1898)ごろから、福岡市で公立の商業学校設立の機運が改めて高まってきた。

当時九州では熊本市、長崎市、久留米市などに次々に公立商業学校が設立され、九州の商都の中では福岡市だけが一人取り残されていた。明治32年2月福岡市会は、福岡市商業学校の設立を決議し、翌年の明治33年2月、福岡市商業学校が創立した。初代校長には、市立鹿児島商業学校校長兼教諭だった有村彦九郎が就任した。また、本校校舎は筑紫郡千代村堅粕字狐穴の国有林の一部を譲り受け、新校舎を建設することになったが、本校舎が完成するまでは福岡市材木町(現中央区天神3丁目)通称「親富孝通り」の少林寺に仮校舎を設けて開校した。少林寺仮校舎では、明治33

年4月から34年5月までの十三ヶ月間、授業が行われた。福岡市で初めての公立商業学校だけに、生徒の保護者の職業は圧倒的に商業が多かった。甲種商業科(高等小学校卒業の生徒)百人のうち商業は八十九人、乙種商業科(尋常小学校卒業の生徒)六十二人は全員が保護者が商業に携わっていた。

祝成人 101回生 同窓で 成人式を祝う

2005年1月8日、私達101回生は成人式を迎えるにあたり、ベイサイドプレイス博多パラダイスにて「成人の集い」を開催しました。

当初、100名前後の参加を予想していましたが、予想を遥かに上回る参加があり、開始前から既にかなり盛り上がりしていました。既に騒がしい中、午後7時に乾杯が始まり、福商会から頂いた電報を読み上げました。が、皆電報どころではない様子でした。

今回、幹事達から、有志でのステージ参加を呼び掛けていたのですが、幹事でもある寒竹さんが活動中の「S-I-S-T-A」のライブが行われたり、福翔イベントで恒例のファッションショーでの艶やかな卒業生に男性達は歓喜し、ライブで皆、歌に酔いしれるといった、とてもいい時間を過ごせました。

最後に私達幹事で目玉プログラムとして用意していた、高校時代のビデオ上映を行いました。ビデオが



流れた途端に会場は騒然とした状態に陥り、いざ自分が映ると悲鳴を上げる人まで！(あのビデオは次の同窓会でも流すつもりです。)

締めはやはり校歌斉唱で幕を閉じ、いざ二次会へ！

私達の同窓会はまた1回目です。これからも私達幹事一丸となり同窓会を企画していきますので、どうか皆さん力を貸して下さい。

101回生幹事代表 原口 勇貴

会費納入者

平成16年11月1日から
平成17年3月31日まで

16年度

- 井上 靖忠 龍
46 藤野 晋一
47 柴田 勝美
48 小川 俊満
49 山田 中
50 白川 信也
29 岩城 栄雄
31 平島 康一
32 井上 延次郎
34 今出 敏男
37 小野 朋之
39 原田 良一
40 保坂 芳実
41 繁木 重義
42 金子 重義
43 小野 朋之
44 鶴田 孝志
45 中村 勤之助
46 木村 耕作
47 平野 正昭
48 相川 耕明
49 小野 朋之
50 小野 朋之
51 山内 政明
52 松崎 嗣弘
53 大西 清彦
54 高田 博志
55 篠崎 純子
56 高木 純一
57 渡辺 節男
58 中野 山忠蔵
59 野見 隆
60 上野 三石衛門
61 西三 衛門
62 藤本 隆
63 蔵本 隆
64 中村 勤之助
65 木村 耕作
66 平野 正昭
67 相川 耕明
68 小野 朋之
69 小野 朋之
70 山内 政明
71 松崎 嗣弘
72 大西 清彦
73 高田 博志
74 篠崎 純子
75 高木 純一
76 渡辺 節男
77 中野 山忠蔵
78 野見 隆
79 上野 三石衛門
80 西三 衛門
81 藤本 隆
82 蔵本 隆
83 中村 勤之助
84 木村 耕作
85 平野 正昭
86 相川 耕明
87 小野 朋之
88 小野 朋之
89 山内 政明
90 松崎 嗣弘
91 大西 清彦
92 高田 博志
93 篠崎 純子
94 高木 純一
95 渡辺 節男
96 中野 山忠蔵
97 野見 隆
98 上野 三石衛門
99 西三 衛門
100 藤本 隆
101 蔵本 隆
102 中村 勤之助
103 木村 耕作
104 平野 正昭
105 相川 耕明
106 小野 朋之
107 小野 朋之
108 山内 政明
109 松崎 嗣弘
110 大西 清彦
111 高田 博志
112 篠崎 純子
113 高木 純一
114 渡辺 節男
115 中野 山忠蔵
116 野見 隆
117 上野 三石衛門
118 西三 衛門
119 藤本 隆
120 蔵本 隆
121 中村 勤之助
122 木村 耕作
123 平野 正昭
124 相川 耕明
125 小野 朋之
126 小野 朋之
127 山内 政明
128 松崎 嗣弘
129 大西 清彦
130 高田 博志
131 篠崎 純子
132 高木 純一
133 渡辺 節男
134 中野 山忠蔵
135 野見 隆
136 上野 三石衛門
137 西三 衛門
138 藤本 隆
139 蔵本 隆
140 中村 勤之助
141 木村 耕作
142 平野 正昭
143 相川 耕明
144 小野 朋之
145 小野 朋之
146 山内 政明
147 松崎 嗣弘
148 大西 清彦
149 高田 博志
150 篠崎 純子
151 高木 純一
152 渡辺 節男
153 中野 山忠蔵
154 野見 隆
155 上野 三石衛門
156 西三 衛門
157 藤本 隆
158 蔵本 隆
159 中村 勤之助
160 木村 耕作
161 平野 正昭
162 相川 耕明
163 小野 朋之
164 小野 朋之
165 山内 政明
166 松崎 嗣弘
167 大西 清彦
168 高田 博志
169 篠崎 純子
170 高木 純一
171 渡辺 節男
172 中野 山忠蔵
173 野見 隆
174 上野 三石衛門
175 西三 衛門
176 藤本 隆
177 蔵本 隆
178 中村 勤之助
179 木村 耕作
180 平野 正昭
181 相川 耕明
182 小野 朋之
183 小野 朋之
184 山内 政明
185 松崎 嗣弘
186 大西 清彦
187 高田 博志
188 篠崎 純子
189 高木 純一
190 渡辺 節男
191 中野 山忠蔵
192 野見 隆
193 上野 三石衛門
194 西三 衛門
195 藤本 隆
196 蔵本 隆
197 中村 勤之助
198 木村 耕作
199 平野 正昭
200 相川 耕明

- 57 堀田 達男
58 岩崎 二子
59 中村 愛子
60 光安 朝代
61 山内 芳江
62 新庄 貞弘
63 秋吉 年春
64 伊藤 忠輝
65 西村 大志
66 川添 大志
67 山見 友晴
68 黒岩 友子
69 福田 馨子
70 赤木 和子
71 中馬 勝子
72 明石 輝夫
73 宮田 政夫
74 吉武 政昭
75 吉松 健太郎
76 八尋 茂忍
77 宮川 隆
78 高倉 弘
79 村田 義雄
80 山田 詔一
81 三好 淳悟
82 安藤 昭一
83 藤井 昭弘
84 内田 ミサ子
85 松尾 慎子
86 山口 和彦
87 藤田 和彦
88 山下 萬里子
89 浅野 恭子
90 山本 萬里子
91 迎 末子
92 深川 隆基
93 岩隈 昌之
94 長柳 正信
95 小柳 隆昭
96 横矢 邦子
97 佐々木 雅枝
98 秋吉 久子
99 岩城 由紀子
100 西岡 惠美子

- 61 藤原 利貞
62 立山 初代
63 堀田 達男
64 岩崎 二子
65 中村 愛子
66 光安 朝代
67 山内 芳江
68 新庄 貞弘
69 秋吉 年春
70 伊藤 忠輝
71 西村 大志
72 川添 大志
73 山見 友晴
74 黒岩 友子
75 福田 馨子
76 赤木 和子
77 中馬 勝子
78 明石 輝夫
79 宮田 政夫
80 吉武 政昭
81 吉松 健太郎
82 八尋 茂忍
83 宮川 隆
84 高倉 弘
85 村田 義雄
86 山田 詔一
87 三好 淳悟
88 安藤 昭一
89 藤井 昭弘
90 内田 ミサ子
91 松尾 慎子
92 山口 和彦
93 藤田 和彦
94 山下 萬里子
95 浅野 恭子
96 山本 萬里子
97 迎 末子
98 深川 隆基
99 岩隈 昌之
100 長柳 正信

- 73 虎谷 恵子
74 奥 肇子
75 古賀 正和
76 古賀 玲子
77 古賀 万実
78 益田 敬子
79 阿部 君代
80 小林 正勝
81 永野 由加里
82 無津 呂繁憲
83 山口 和人
84 松永 浩一
85 無津 呂美紀
86 枝村 裕子
87 能勢 房子
88 小野 智恵美
89 小野 智恵美
90 松尾 昌也
91 山田 忠義
92 平嶋 良香
93 濱川 直子
94 渡辺 佳奈子
95 河崎 三砂
96 吉村 奈保美
97 中山 清美
98 平嶋 清美
99 吉村 奈保美
100 藤岡 信子

17年度

- 73 久保 洋二
74 瀬戸口 雄士
75 菅又 広司
76 古賀 正和
77 古賀 玲子
78 古賀 万実
79 益田 敬子
80 阿部 君代
81 小林 正勝
82 永野 由加里
83 無津 呂繁憲
84 山口 和人
85 松永 浩一
86 無津 呂美紀
87 枝村 裕子
88 能勢 房子
89 小野 智恵美
90 小野 智恵美
91 松尾 昌也
92 山田 忠義
93 平嶋 良香
94 濱川 直子
95 渡辺 佳奈子
96 河崎 三砂
97 吉村 奈保美
98 中山 清美
99 平嶋 清美
100 吉村 奈保美

- 42 西原 豊
43 藤原 茂雄
44 大社 茂雄
45 永江 敏行
46 持山 恵亮
47 木村 義雄
48 川本 義雄
49 山口 眞吾
50 矢野 四郎
51 松島 恒雄
52 福山 啓介
53 藤原 義夫
54 平島 勝
55 橋本 寛二
56 濱田 隆
57 早川 清風
58 蓮井 利春
59 田口 信一
60 守次 石衛門
61 古森 敬造
62 島田 清
63 立石 清志
64 倉成 敬造
65 鳥山 昇
66 羽野 次郎
67 渡辺 佳奈子
68 濱川 直子
69 平嶋 良香
70 山田 忠義
71 松尾 昌也
72 大村 茂雄
73 安河内 重連
74 谷口 寅雄
75 高崎 次郎
76 三島 啓介
77 三島 直美
78 真次 健三
79 荒井 昌夫
80 和野 達美
81 西野 直美
82 和田 寿夫
83 渡辺 大三
84 原 宗一
85 上田 宗一郎
86 宮本 好博
87 橋本 好博
88 調地 正明
89 藤井 正勝
90 安永 正孝
91 島田 清
92 立石 清志
93 倉成 敬造
94 鳥山 昇
95 羽野 次郎
96 渡辺 佳奈子
97 濱川 直子
98 平嶋 良香
99 山田 忠義
100 松尾 昌也

- 42 桐島 隆之輔
43 加茂 川仁巴
44 落合 二男
45 貴 昭彦
46 阿部 幸生
47 吉田 幸生
48 山崎 幸一
49 田中 政雄
50 井上 政之
51 山口 政之
52 野田 政之
53 平野 良平
54 吉村 龍典
55 吉崎 数馬
56 真鍋 利夫
57 真鍋 利夫
58 和野 達美
59 西野 直美
60 和田 寿夫
61 渡辺 大三
62 原 宗一
63 上田 宗一郎
64 宮本 好博
65 橋本 好博
66 調地 正明
67 藤井 正勝
68 安永 正孝
69 島田 清
70 立石 清志
71 倉成 敬造
72 鳥山 昇
73 羽野 次郎
74 渡辺 佳奈子
75 濱川 直子
76 平嶋 良香
77 山田 忠義
78 松尾 昌也
79 大村 茂雄
80 安河内 重連
81 谷口 寅雄
82 高崎 次郎
83 三島 啓介
84 三島 直美
85 真次 健三
86 荒井 昌夫
87 和野 達美
88 西野 直美
89 和田 寿夫
90 渡辺 大三
91 原 宗一
92 上田 宗一郎
93 宮本 好博
94 橋本 好博
95 調地 正明
96 藤井 正勝
97 安永 正孝
98 島田 清
99 立石 清志
100 倉成 敬造

- 57 後藤 和弘
58 西野 義晴
59 青木 光明
60 松本 弘美
61 阿部 利枝
62 水戸 正行
63 辻 正行
64 久我 八郎
65 田中 喜一郎
66 光安 義弘
67 堤 悟教
68 菅 悟教
69 菅 悟教
70 萩村 悟教
71 吉村 悟教
72 吉崎 悟教
73 真鍋 悟教
74 和野 悟教
75 西野 悟教
76 和田 悟教
77 井上 悟教
78 山口 悟教
79 野田 悟教
80 平野 悟教
81 吉村 悟教
82 吉崎 悟教
83 真鍋 悟教
84 和野 悟教
85 西野 悟教
86 田中 悟教
87 井上 悟教
88 山口 悟教
89 野田 悟教
90 平野 悟教
91 吉村 悟教
92 吉崎 悟教
93 真鍋 悟教
94 和野 悟教
95 西野 悟教
96 田中 悟教
97 井上 悟教
98 山口 悟教
99 野田 悟教
100 平野 悟教

元気印の企業紹介 GENKI COMPANY vol.2



日本一美味しいしょうゆを目指しています

有限会社 ヤママルしょうゆ

坂本 浩一さん(79回生)



シリーズとして同窓生で活躍されている「元気印の会社」を今回ご紹介させていただきますのは(有)ヤママルしょうゆの坂本浩一氏(79回生)です。

坂本氏は福商時代(昭和53年〜56年)に剣道部で活躍し、昭和55年度九州大会県予選で個人二位、九州大会出場を果たしました。高校卒業後、日本体育大学へ進み剣道部で活躍されました。

大学卒業後は、家業を継ぐ準備として(株)田島屋味噌醸造元(同窓生)で四年間の修行を経験されています。

そもそも、家業は坂本氏の祖父である坂本宗右衛門氏が創業し、その歴史の中では日本の醤油醸造最大メーカーが、「作り方を教えてくれ」と頼みに来られたこともあったそうです。当然「企業秘密」ということで、丁重にお断りしたとことです。

坂本氏は祖父の残してくれた土台、歴史を受け継ぎ平成十二年度全国醤油品評会で濃口、淡口両部門で見事銀賞を受賞されました。濃口、淡口両部門で銀賞という快挙は九州では初めてのことでした。

また、坂本氏は昔から剣道においても研究熱心でしたが、その性格が功を奏し醤油作りにも活かされ、今では「柚子衛門」、「チャーハン名人」、「やさそばジョーズ」、「つゆ太郎」など数々の商品を開発し、そのどれもが好評で「一度口にしたら別の商品では食が進まなくなる。」といった、お客様の声が多いとのこと。事実、「リピーター」と新規紹介が絶えず、またTNC「ももちストア」から取材が入るほどの人気です。

そんな大人気の「ヤママルしょうゆ」さんですが、坂本氏いわく「スーパー等での店頭量販はお

こなわず、あくまで料亭、飲食店、家庭の食卓へ直接お届けするスタイルを賣きたい」とのことでした。

直接お店に行けば店休日以外いつでも購入できますので、皆様、是非一度、賞味してみてください。「福商会報」を見て良かった!と思うこと間違いなしですよ!

漬物、納豆、奴豆腐、刺身等にかけたら、素人でも味の違いが分かります。 (MA) 私も使い続けて25年の愛好者です。

創業以来、数々の賞を受賞 その味と匠の実績 全国醤油品評会

- ◎食料庁長官賞 3回
- ◎品評会名誉会長賞 4回
- ◎品評会会長賞 3回
- ◎品評会会長賞 3回
- ◎県知事賞 5回
- ◎理事長賞 1回



有限会社 ヤママルしょうゆ
 サンキョウ ヤママル
 福岡県筑紫野市原田6丁目6-3
 URL <http://www.yamamaru.co.jp> TEL 0120-39-8006
 E-mail webmaster@yamamaru.co.jp FAX 092-927-0939
 店休日/日曜日・祝日・第2土曜日

本を出しました

「山中捨五郎記」

林 力先生(41回生)

半世紀近く同和教育に取り組み、今も講演など精力的な活動を行っています。

今回ハンセン病だった父の人生を「山中捨五郎記」として著し、皓星(こうせい)社から出版しました。



経歴
 福岡商業高校教師(昭和33~47年)
 九州産業大学国際文化学部教授(平成12年~月退任)
 現在、九州大学非常勤講師、国立ミナトナオ大学名誉博士、ヒューマンライツ福岡市民会議会長



イベント活動

若い世代が中心となって、様々な企画を運営し、交流を深めていくというこの度「ファンシア」を結成しました!
 第1回目は、音楽演劇ダンス・ショーなど芸術系のアーティストイベントを企画しています。

2005年9月10日(土)開催予定

ホームページも作成予定ですので情報を寄せ下さい。企画・運営スタッフも大募集しています。ご連絡は左記アドレス、寒竹(さふゆき)101回生)まで。

e-mail

NETWORK SYSTEM REMIX Co., Ltd
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

株式会社 エヌ・エス・エックス

コンピュータ・ネットワークシステム構築 代表取締役 跡部 宗教 (79回生)
ホームページ制作・制作・コンサルティング ATOBE MUNENORI
エスディサービス・レンタルサーバー
インターネット・WEBカメラ
福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝真ビル2F
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071
Total Support Of Computing

ビューティ・ビジネスの未来を創る。
株式会社 ダリヤ
代表取締役会長
高木 不二男 (60回生)
TAKAKI FUJIO
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail:f.takaki@net.email.ne.jp
http://www.mmjp.or.jp/dariya

あらゆる印刷は！
慶和印刷株式会社
代表取締役 前田 福一 (55回生)
福岡市博多区東那珂1丁目15-1
電話(092)474-4881番(代表)

「うまい！」うれしいお礼のことは
きつと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎
代表取締役 山口 毅 (52回生)
■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五洲1-1-1 電話(092)475-7777

中華料理
和食
海鮮料理

八仙閣
相談役 増田 稔 (59回生)
福岡市博多区博多駅前2丁目7-7
電話(092)411-4141番

総合建設業一級建築士事務所
株式会社 五成建業
会長 安河内 馨 (46回生)
東京都世田谷区上馬4の13の19
TEL 03(3418)8151(代)
FAX 03(3424)9418

株式会社 堀江本店
会長 堀江 武 (52回生)
代表取締役社長 堀江 徹 (75回生)
〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL(092)503-0121(代)
FAX(092)504-1219

広告代理店
株式会社 春潮社
取締役社長 古川 淳二 (63回生)
福岡市博多区千代4-29-12
電話(代表)641-1031番

線香・ローソク・お香・広告マッチ
株式会社 中島晴薫堂
代表取締役 中島 勝敏 (55回生)
〒812-0044
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055
長崎営業所 諫早市栗面町288番地305号 TEL・FAX0957-21-0675

工業用テープ
包装テープ
梱包機・梱包資材
カッティングテープ
カット絵文字制作

福岡テープ株式会社
代表取締役 糸永 清二 (55回生)
福岡市博多区博多駅前2-16-10
TEL 092-411-3929(代)

imai PRINTING
代表取締役社長 今井 勝彦 (57回生)
今井印刷株式会社
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番18号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する 総合建設業・木材業
柏屋グループ 不動産業
一級建築士事務所
柏屋殖産株式会社
代表取締役会長 篠原 隆義 (54回生)
本社 柏屋郡柏屋町大字仲原2525
電話(代表)621-1331番

試薬 分析研究用 機材
診断検査用
正晃株式会社
相談役 印 正司 (35回生)
本社 〒813-0062 福岡市東区松島3丁目8区一番
営業所 福岡・北九州・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本
鹿児島・宮崎・山口・下関・沖縄・東京

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社
代表取締役会長 渡邊 與三郎 (39回生)
福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話(092)721-4531番

環境にやさしい製品作りをめざしています
印刷のご用命は **nip 株式会社 ナガシマ**
ISO14001認証取得
代表取締役 永島 光雄 (55回卒)
笠木 雄二 (65回卒)
本村 智彦 (82回卒)
福岡市博多区豊1丁目9-18 TEL482-7751(代) FAX482-7734

確定申告サポートシステム

領収書
あんしんBox セット

定価:2,000円(税込)
商品の発送はメール便。
小包便をご希望の場合は別途送料400円加算。

領収書のカンタン整理 代表取締役社長 松浦 豊喜 (58回生)

集める + 貼付け・集計 = 申告準備

●あんしんBox(1ヶ)
●スティック糊(1本)
●貼り台紙(50枚/冊)
(科目集計表、科目ラベル付)

商品型式	一般用 (Rab-A4SMN)
	農業所得用 (Rab-A4AMN)
	不動産所得用 (Rab-A4RMN)

お申込みはFAX
0120-0120-1129-58で承ります。
●下記項目をご記入の上お申込み下さい。
①郵便番号、住所 ②氏名(フリガナ)
③電話番号 ④FAX番号 ⑤商品型式、数量
⑥配送方法:メール便、小包便(別途送料400円)
■お支払い方法:郵便振替(振込用紙は商品に同封)

■本社・工場 〒816-0905 福岡県大野城市川久保3丁目1番23号 TEL(092)504-2489(代) FAX(092)504-2900
営業所/東京・神戸 出張所/仙台・名古屋・広島・松山・沖縄
お問い合わせはフリーダイヤル 0120-1129-07 http://www.nic-fs.co.jp

◆ 三浦裕君(2年生)と京谷彩花さん(2年生)が来館



福翔高校の三浦 裕君(2年生)と京谷彩花さん(2年生)が、3月18日に芝恭介先生と来館しました。三浦君は2月2・3日に行われた「やまなし・ゆめふじ国体」に出場し、男子ショートトラック少年男子500mに見事優勝し、報告に来たものです。また、京谷さんは第30回全日本バトン・トワリング選手権九州大会ダンス・トワ

ルの部で3位に入賞し、九州代表として、3月27日に北海道で開催される全国大会に出場しました。三浦君は「更なる上を目指して頑張ります」京谷さんは「優勝目指して頑張ります」と力強い抱負を語ってくれました。

◆ 吉住正隆氏(58回生)

第39回 福岡市美術展 工芸部門

奨励賞を受賞

福商時代、美術部に所属。定年退職を機に「葉っぱの展示会」を見、「これなら自分にもやれそうだ」と葉っぱの絵を描き始め、今では毎日野山を歩き絵の葉の材料まで収集。野球は大のホークスファン。作品「鷹のV飛行」は文化庁で著作権を取得。昨年「葉っぱ絵教室」を開いております。興味のある方はお問い合わせ下さい。



受賞作品「ムーンライトの森」

ふく菓工房：TEL/FAX

募集 福商会報の編集者を探しています。

福商会報も140号、141号から紙面を新たに、会員の皆様に興味を持ち、楽しんでいただけるよう「ビジュアルで読みやすく」をモットーに編集をしています。現在、8名の編集委員で紙面づくりを行っています。「見出し」や「記事のまとめ」など、専門に経験した委員が居ないため、編集経験をお持ちの方で、ボランティア活動が出来る方を探しています。是非ともご紹介、お手伝いしていただける方がいらっしゃれば、事務局にご連絡をお願いいたします。

連絡先 福商事務局 092-711-9890

記事募集 同窓会を開催されたり、開催の予定等があれば掲載いたします。簡単なコメントに写真を添えてお送り下さい。又、会員の皆様からの寄稿(随想・俳句・写真等)もお待ちしております。

TEL/092-711-9890 FAX/092-711-9266

編集後記

3月20日(日)午前11時頃、福岡を震度6弱の地震が襲い、大変な事態となりました。

これほどの地震の体験をした事のない福岡市民も大変な混乱と恐怖に慄いたことでしょう。特に玄界島の被害は想像を絶するものでした。

たまたま西戸崎におり、即刻帰路につきましたが車の渋滞に遭い、市内に入るには難渋しました。先ず福商会館へ行きました。表面は特に問題は有りませんでしたが、中は大変な状態で、縁縁は殆ど落ち、ガラスが散乱し築後20年以上のビルですから心配しました。次の日、事務長と点検しますと壁に数多くのヒビが走り、玄関の所は陥没の跡がありました。これからもビルの修復と安全を今以上に留意せねばと考えております。

今年の全国合同同窓大会の当番幹事は80回生の皆様ですが、毎週土曜日に会館に集まって、大会準備に追われています。色々

と苦勞も多かるうと思いますが、こうした苦しい経験が80回生の皆様の今後の人生に必ず役に立つものです。特に厳しい経済状況下での広告集めには頭を痛めているようです。

同窓の皆様にもご負担をお掛けしますが、宜しくご協力して頂きますようお願いいたします。(F.M)

縦の糸の会、福商会入会式、福翔高校卒業式、入学式と先輩、後輩との交わりの中で、歴史と伝統の重みをひしひしと感じた数ヶ月でした。家庭でも社会でも人とのつながりの薄さが言われるなか、わが母校を通し、人との出会いの大切さや友情が脈々と続いている様を見るにつけ、今、忘れかけている「感謝の気持ち」や「思いやり」の大切さを改めて感じる日々です。企業では「人は財産」と言いますが、まさに「同窓は自分の財産なり」ではないでしょうか。会員の皆様も大いに交流を深めてください。(T.K)

福岡県西方沖地震のお見舞い

謹んで災害のお見舞いを申し上げます

このたび福岡西方沖を震源とする地震において、被災された同窓生、学校関係者並びに地域の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧をされますようご祈念申し上げます。また、当会でも「福岡県西方沖地震義援金」の受付を行っております。

問い合わせ先

TEL / 092-711-9890 FAX / 092-711-9266

社団法人福商会

平成17年4月1日からの個人情報保護法に伴い、福商会でも個人情報保護に取り組んでいます。

会員皆様の氏名、住所、電話番号は個人情報保護法の対象となっており、厳重な保護と保管が義務づけられています。福商会では会員の皆様に福商会報の送付の際に、郵送ラベルの印刷を行っておりますので、会員様よりご理解をいただく必要があります。従って、当会では個人情報保護法の規範を遵守し、皆様の情報を厳重に保護しています。

◆ 池田広志氏、越智英之氏 来館

4月5日、池田広志氏(57回生)、越智英之氏(57回生)が来館されました。池田氏は財団法人オイスカに所属し、現在



ミンダナオ農林業開発研究センターの責任者として活躍されています。同島には34年間滞在され、オイスカが進める緑化運動(ラブグリーン運動)の一環として植林活動や技術指導等に従事して来られました。また、これからの活動として、モンゴルにおける植林活動に努力したいとのことであり「若い人達のボランティア活動による積極的参加をお願いしたい」と熱く語っていました。

OISCA(オイスカ)とは 名称およびその活動

ORGANIZATION(機構) INDUSTRIAL(産業) SPIRITUAL(精神) CULTURE(文化) ADVANCEMENT(促進) の頭文字をとったもので、「産業・精神・文化という人間に不可欠な三要素のバランスを保ちながら発展させていくことが、人類の繁栄と幸福につながる」という信念に立ち、それを「全地球規模で促進していくこと」を目的とした国際組織です。